



平成23年1月13日

各 位

会社名 株式会社くろがね工作所
代表者名 取締役社長 神足 泰弘
(コード 7997 大証第2部)
問合せ先 専務取締役 神足 尚孝
(TEL. 06-6538-1010)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年11月期（平成21年12月1日～平成22年11月30日）において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、最近の業績動向も踏まえ、平成22年7月13日第2四半期決算短信発表時の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

事業の構造改善をさらに進めるため物流関係の統廃合等を実施したことにより、特別損失として事業構造改善費用を37,514千円計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 【連結】平成22年11月期連結業績予想数値の修正（平成21年12月1日～平成22年11月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,200	90	20	140	円 銭 8 21
今回修正予想(B)	9,950	93	20	119	7 02
増減額(B-A)	△250	3	0	△21	△1 19
増減率(%)	△2.5	3.3	0.0	△15.0	—
(ご参考) 前期実績(平成21年11月期)	10,663	△955	△1,064	△2,114	△124 04

(2) 【個別】平成22年11月期個別業績予想数値の修正（平成21年12月1日～平成22年11月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,700	90	30	150	円 銭 8 80
今回修正予想(B)	9,462	89	40	140	8 22
増減額(B-A)	△238	△1	10	△10	△0 58
増減率(%)	△2.5	△1.1	33.3	△6.7	—
(ご参考) 前期実績(平成21年11月期)	10,138	△823	△894	△1,951	△114 49

(3) 修正の理由

（連結通期）

売上高は依然として民間設備投資の需要が低調であり、家具関連事業の環境が極めて厳しい状況で推移いたしました。その結果通期の売上高は発表予想を下回る見込みであります。

損益面におきましては、営業利益、経常利益ともほぼ予想通りの見込みであります。当期純利益につきましては、上記記載のとおり特別損失が発生した事により、前回の予想を下回る見込みであります。

（個別通期）

売上高は上記の通り、前回予想を2億38百万円下回る94億62百万円となる見込みであります。

損益面におきましては、営業利益、経常利益ともほぼ予想通りの見込みであります。当期純利益につきましては、上記記載のとおり特別損失が発生した事により、前回の予想を下回る見込みであります。

〔注記事項〕

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上